

秋高くして専修人が躍る



鳳祭

文化の秋を彩る、専修大学の学園祭「鳳祭」は、生田・神田両キャンパスで開催された。学内の学術文化会・県人会・サークル・ゼミナール・有志団体など約200団体が参加し、研究発表、スポーツ、ライブステージ、講演会、ミス専修コンテスト、ミスター専修コンテストなど、盛りだくさんの企画が行われた。(6・7面に写真特集)

一三ース専修

「専修大学」ホームページ
http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行
(定価一部90円)
発行所
専修大学広報課
〒101-8425 東京都千代田区
神田保町3-8
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

- 「日本経済の課題―アベノミクスを総点検する―」
- 経済学研究科・政策科学シンポジウム……………2
- シンポジウム「カレッジスポーツの力を考える」(スポーツ研究所)……………3
- 寄稿「スポーツを通じた大学の社会貢献」久木留毅文学部教授……………5
- 絆を深める「ホームカミングデー」……………8
- 留学生と交流／手話講習会、護身術講習会……………9
- 石巻専修大学 石巻祭を開催／学生自動車整備コンテスト上位独占……………10

仲川恭司教授 パリで揮毫



「ギメ美術館」で
現代日本の書代表作家展

鮮やかな筆さばきを、き出された文字は「龍」。600人の来場者が食い入るように見入った。描精髄を、西欧の人々に伝

「ドラゴンが誕生してきた瞬間を見た」

える「現代日本の書代表作家パリ展 SHO2」(10月23日から2014年1月13日まで国立ギメ

西洋美術館「パリ」で開催、主催・フランス国立ギメ西洋美術館、毎日書道会)での開幕式で、仲川恭司文学部教授は、書道家代表6人の一人として揮毫を行った。その姿をそばで見たフランス人は、「ドラゴンが誕生してきた瞬間を見た」と感動した面持ちだった。

会場の「ギメ美術館」は、西欧における東洋美術の殿堂。同展は昨春の「SHO1」に続く2回目の開催だ。毎日書道会を代表して、1回目の41人を上回る100人が出展。仲川教授の作品は、春先の疾風を捉えた大字書「風(春の風)」。



「龍」を揮毫する仲川教授(10月22日、パリの「ギメ美術館」ホールで(提供・毎日書道会))

仲川教授は「漢字の意味を熱心に問うフランス人に触れ、書の魅力を世界に発信する試みが大きく前進したと感じた」と語った。



創業者4人の青春物語 DVD絶賛販売中(購買会他)

箱根駅伝 3年ぶり出場決定



地域振興協議会のブースでは、前川ゼミが企画・運営する「かわさきトレジャーラインたま区 シティトレジャー」(多摩区役所主催、9月28日〜10月19日)が行われ、ゼミ生たちが地域活性化に貢献(同16)。また、「多摩区・三大学連携協議会」の一環として明治大学、日本女子大学とともに本学のブースが設置され、オリジナルグッズの販売やパネル展示が行われた(同16)。



恒例の「多摩区民祭」(10月19日、川崎市多摩区・生田緑地)に、本学から1ゼミ、2サークルが参加し、7万7千人が集まる多摩区最大のイベントに華を添えた。参加したのは吹奏楽研究会、スカバンド研究会、スフィード、商学部・前川明彦ゼミの学生。吹奏楽研究会はオープンングセレモニーで演奏(写真16)、スフィードは芝生広場中央に設けられたステージでライブを披露(同16)。両会とも管楽器を用いた迫力ある演奏で、祭りを盛り上げた。



専修大学 フィルハーモニー管弦楽団 第41回定期演奏会
「ノスタルジア」故郷への追憶(12月14日(土) 13時30分開演/14時開演)
ミューザ川崎シンフォニーホール(JR川崎駅西口駅前)
ドヴォルザーク交響曲第9番「新世界より」
シュベルト交響曲第7(8)番「未完成」ほか
※入場料1000円(全席自由)。当日、「専修大学」チラシ(生田・神田両キャンパスの学生生活課前で配布中)持参で先着300組(組2人まで)にチケットプレゼント。
E-mail: senshuphi@gmail.com

多摩区民祭に 華添える

